

令和4年度 事業報告

公益財団法人大阪腎臓バンク

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

概 況

1. 理事会及び評議員会の開催状況

- (1) 令和4年5月11日（水）（理事会）
令和3年度事業報告（案）及び決算（案）、原案通り承認された。
- (2) 令和4年5月27日（金）（定時評議員会）
令和3年度決算（案）を原案どおり承認した。その後、任期満了に伴う評議員の改選を行い、原案通り選任するとともに、新たに理事1名の選任を原案どおり承認した。
- (3) 令和5年2月22日（水）（理事会）
令和5年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について原案どおり承認された。

2. 基本財産の状況

令和4年度末（令和5年3月31日） 基本財産 60,000,000 円

事業報告

1. 腎不全実態調査助成事業（40万円）

血液透析医療や腎移植医療の実態把握のため、大阪透析研究会及び腎移植施設連絡会が行った調査・解析研究に対し、それぞれ年間20万円を助成した。

2. 若手研究者に対する研究助成（350万円）

令和4年度の研究助成事業も、大学・病院医師・コメディカルといった様々な所属や移植・透析・CKDといった様々な医療分野からの申請を一律に審査していた方法を改め、様々な分野の研究テーマに幅広くチャンスを与えるため、施設・資格、医療分野ごとに枠を設け、その各々の枠の中で審査を行うこととした。

その結果、19件の申請に対して基礎分野は6件、臨床分野は6件、コメディカルは1件、疫学分野は1件に対し助成した。

- ① 坂口 悠介（大阪大学大学院医学系研究科 腎疾患臓器連関制御学 寄附講座助教）
血液透析患者の歩行機能に対する whole body vibration の効果—ランダム化比較試験
助成金 20万円 (OKF22-0002)
- ② 勝間 勇介（大阪大学 腎臓内科学 医員）
リン負荷が腎障害を引き起こすメカニズムを先入観なく解明する
助成金 30万円 (OKF22-0004)
- ③ 辻野 拓也（大阪医科薬科大学医学部 泌尿器科学教室 非常勤医師）
透析腎癌患者における新規バイオマーカーの検討
助成金 10万円 (OKF22-0005)
- ④ 松島 新（滋慶医療科学大学大学院 医療管理科学研究科修士課程）
慢性透析患者の血管石灰化と pH・重炭酸イオン濃度の関連性に関する研究
助成金 50万円 (OKF22-0006)

- ⑤ 杉山 紀之(大阪医科薬科大学医学部 解剖学教室 講師)
透明化技術を用いた三次元観察によるネフロン癆の嚢胞発生領域の同定
助成金 20万円 (OKF22-0008)
- ⑥ 好岡 大輔(大阪大学大学院医学系研究科 統合生理学 助教)
蛍光イメージングによるNa⁺依存性リン酸共輸送体の細胞膜局在機構の解明
助成金 50万円 (OKF22-0009)
- ⑦ 土井 洋平(大阪大学医学系研究科 腎臓内科学 医員)
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果の検討
助成金 30万円 (OKF22-0010)
- ⑧ 楠 康生(市立豊中病院 腎臓内科 医長)
血液透析室における自走式紫外線照射ロボットによる環境消毒および業務負担軽減への効果の検討
助成金 25万円 (OKF22-0012)
- ⑨ 壁井 和也(大阪市立大学大学院 医学研究科 病院講師)
腎臓線維化における新規バイオマーカーPeriostinの役割の解明
～線維化治療ターゲットとしてPeriostinの可能性を探る～
助成金 30万円 (OKF22-0013)
- ⑩ 赤川 友布子(関西医科大学 小児科学講座 病院助教)
シンバイオティクスによる尿路感染症の再発予防効果に関する検討
助成金 10万円 (OKF22-0014)
- ⑪ 曾根 一真(大阪市立大学大学院 医学研究科 大学院生)
Fetuin-A含有calciprotein particle (CPP)の肝へプシジン発現に対する影響
助成金 30万円 (OKF22-0016)
- ⑫ 上殿 英記(大阪市立大学大学院 医学研究科 病院講師)
透析患者における栄養障害と骨髄由来抑制細胞(myeloid-derived suppressor cells:MDSC)の関連
助成金 10万円 (OKF22-0017)
- ⑬ 中澤 成晃(大阪大学大学院医学研究科 泌尿器科学 特任助教)
Iga腎症患者の腸内細菌叢を解析し疾患特異的細菌叢を探索する網羅的基礎研究
助成金 25万円 (OKF22-0018)
- ⑭ 山本 陵平(大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)
特定健診・後期高齢者の末期腎不全の発症予防効果の評価
助成金 20万円 (OKF22-0019)

3. 優秀論文に対する褒賞(40万円)

令和4年3月の第96回及び9月の第97回大阪透析研究会で発表され、優秀論文選考委員会で選ばれたもの年間8件を表彰し、褒賞金各5万円を贈呈した。

(1) 第96回大阪透析研究会優秀論文

- ① COVID-19院内クラスターに対し多数の透析患者に隔離透析を行った経験(大阪労災病院)
- ② 安価で簡単にシャント音を保存しよう！(関西医科大学香里病院)
- ③ 短期型透析用カテーテル(temporary vascular catheter:TVC)関連血流感染低減に向けての取り組み(一般財団法人住友病院)
- ④ 透析患者に対するBIA法を用いた位相角の評価(柏友クリニック)

(2) 第97回大阪透析研究会優秀論文

- ① 誤嚥性肺炎を発症した血液透析患者に対する干渉波電気刺激の効果（井上病院）
- ② エコー下VAIVTの補助検査としての非造影MRAの活用（井上病院）
- ③ BVプロにHot Shot I-HDFを併用し血圧安定化に寄与した一例（さかいクリニック）
- ④ 新型コロナウイルス感染症で入院した血液透析患者の意思決定支援（仁真会白鷺病院）

4. 教育研修助成事業

堺市立病院機構に対し、第21回JATCO総合研修会/ドナーコースへの参加費用40,400円を助成した。

5. 学会等共催事業（1132万円）

腎・尿路疾患の予防と治療に関する学術研究の推進に寄与するため、学会等共催審査委員会で承認された学会及び研究会の共催事業を実施した。

(1) 学会

- ① 第97回大阪透析研究会 R4.9.11 於：大阪国際会議場 主宰 辻本 吉広（井上病院）
- ② 第98回大阪透析研究会 R5.3.5 於：大阪国際会議場 主宰 繪本 正憲（大阪公立大学）
- ③ 第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 R4.11.10～12 於：神戸国際会議場
主宰 植村 天受（近畿大学）
- ④ 第24回日本在宅血液透析学会・第17回長時間透析研究会 R4.11.12～13
於：大阪国際交流センター 主宰 山川 智之（白鷺病院）
- ⑤ TSS Asian Regional Meeting R4.11.25～26 於：京都産業会館 主宰 今村亮一（大阪大学）

(2) 研究会

- ① 日本組織適合性学会近畿地方会 代表世話人 芦田 隆司（近畿大学病院）
- ② 大阪腹膜透析研究会 会長 林 晃正（大阪急性期・総合医療センター）
- ③ 大阪腎移植病理組織研究会 代表世話人 岸川 英史（県立西宮病院）
- ④ 移植後肝炎研究会 幹事 市丸 直嗣（近畿中央病院）
- ⑤ 慢性腎臓病（CKD）アウトカム研究会 代表幹事 中西 健（兵庫医科大学）
- ⑥ 大阪骨粗鬆症検診を考える会 会長 稲葉 雅章（大野記念病院）

6. 普及啓発事業（215万円）

(1) キャンペーン活動及び啓発資料作成・配布

令和4年10月22日に「すみよし区民祭り」にブースを出展し街頭キャンペーンを実施した。

(2) 患者団体活動助成

患者団体の活動に対し助成を行った。

- ① NPO 法人大阪腎臓病患者協議会（大腎協）
- ② NPO 法人日本移植者協議会（日移協）
- ③ 大阪移植の会
- ④ 大阪腎友会

(3) 勉強会の開催及び機関誌発行等

令和4年12月16日に大阪難病相談支援センターにおいて大阪府と共催で臓器提供に関する研修会及び大阪府院内移植コーディネーター研修会を開催した。

また、OKFニュースを発行し賛助会員等に配布するとともに、ホームページを更新した。

7. 組織適合検査事業 (423 万円)

- (1) 検査体制の整備に努めるとともに、検査事業の向上・改善を図るため、日本臓器移植 NW、検査機関、移植施設と意見・情報交換を行った。
- (2) 献腎移植希望登録を円滑に行うため、組織適合検査（HLA検査、クロスマッチ検査）を当財団の費用負担（一部、府補助金及び患者負担あり）により、大阪急性期・総合医療 C で実施した。
 - ① HLA検査 77件（うち、患者負担徴収分73件）
 - ② 抗体クロスマッチ検査 0件

8. 大阪府臓器移植コーディネーター事業 (703 万円)

- (1) 日常活動として、三次救命救急センター、公的病院、民間病院の 17 医療施設を延べ 67 回訪問し、移植推進のための情報交換や普及啓発資料等配布した。臓器提供可能医療機関に対し移植医療の普及啓発を図るため、院内移植コーディネーター設置支援や臓器の提供に関する研修会の開催など提供体制の強化に努めた。また、大阪府、日本臓器移植 NW との連絡調整業務を行った。
- (2) ドナー発生時は日本臓器移植NWの指示により腎臓提供を承諾する通報から腎移植に至るまで、腎提供施設・移植施設との連絡調整、組織型の適合した移植希望登録者への連絡、検体・腎臓の搬送、ドナー遺族への対応を行った。
- (3) 令和4年度における、大阪府内でのドナー情報は 15 件あり、提供に結びついたのは 4 件であった。

<令和4年度 献腎移植実績>

提供：府内 4件8腎、府外 8件8腎

移植：府内 12腎、 府外 4腎 計 16腎

年 月 日	提供病院	移植病院	備考
4年 5月14日	(大阪府)	兵庫医科大学病院	脳死
		神戸大学医学部附属病院	
5月21日	岡山大学病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
5月25日	(大阪府外)	(大阪府)	心停止
6月 4日	関西医科大学附属病院	香川大学医学部附属病院	脳死
		大阪大学医学部附属病院	
6月16日	(大阪府外)	(大阪府)	心停止
7月 1日	名古屋掖済会病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
8月16日	石川県立中央病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
11月16日	東京医科大学八王子医療センター	大阪大学医学部附属病院	脳死
11月16日	(大阪府)	東京女子医科大学病院	脳死
		大阪大学医学部附属病院	
5年 3月18日	豊橋市民病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
3月23日	川崎市立川崎病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
3月27日	(大阪府)	(大阪府)	心停止
		(大阪府)	